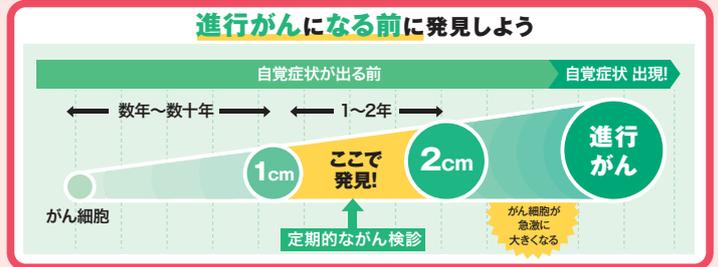
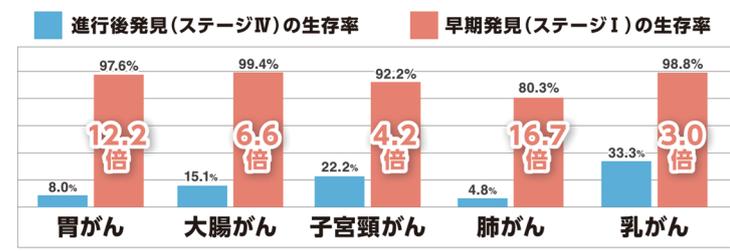


日本人の2人に1人が“がん”になると言われています

ご家族の未来も大切です **がん検診**を受けましょう

若くても大切な **早期発見**

がんの多くは **早期発見**、**早期治療**によって生存率が上がります



あなたの年代別 受けられる **がん検診**

お得に **約7~8割引**

札幌市がん検診は、市内にお住まいで、職場等でがん検診を受ける機会のない方が対象です。職場でがん検診の機会がある方は、職場の検診を忘れずに受けましょう。

20~30代なら	子宮がん検診 	対象者 女性のみ 2年に1回	検査内容 子宮頸部の細胞を採って検査します	料金 通常費用7,000円程度 自己負担額 1,400円	20~30代での発症が増えている約3,000人/年が死亡 年間1万人が発症 <small>子宮頸がん(日本)</small> 早期発見により、例えば子宮摘出や転移など、重症化のリスクが下がります。 <small>*医療機関で子宮頸がんのみ受けた際の金額になります *検査をする医師の判断で子宮体部の細胞診もあわせて実施した場合は、自己負担額は2,100円になります。</small>	
	40代ならさらに受けられます	乳がん検診 	対象者 女性のみ 2年に1回	検査内容 マンモグラフィ(乳房のレントゲン撮影) 超音波検査 <small>*マンモグラフィ検査の受診時に、超音波検査に同意した満40歳~満49歳の方が対象です</small>	料金 通常費用1万円以上 自己負担額 1,800円 通常費用4,000円程度 自己負担額 800円	9人に1人がかかる30代後半からかかる人が増える15,000人以上/年が死亡(日本) 早期発見で、例えば乳房切除や転移など重症化のリスクが下がります。 <small>*40歳代の方はマンモグラフィ2方向検査で、右記の料金で受けることができます。 *50歳代の方はマンモグラフィ1方向検査で自己負担額は1,400円となります。</small>
		大腸がん検診 	対象者 男女共通 1年に1回	検査内容 便に血液が混じっていないかを検査します <small>*1回の検査につき検便は2回行います</small>	料金 通常費用2,000円程度 自己負担額 400円	最もかかる人が多いがん かかる人が増え続けている 男女合計:がんの種類別罹患数(日本)
肺がん検診 		対象者 男女共通 1年に1回	検査内容 胸のレントゲン検査を行います <small>*喀痰(かたん)検査は400円(問診の結果により実施する場合があります)</small>	料金 通常費用4,000円程度 自己負担額 0円	一番死亡率が高いがん がんの種類別死亡数(札幌市)	
50代以上なら	胃がんリスク判定検査 	対象者 男女共通 生涯に1回	検査内容 ピロリ菌の有無を調べる血液検査になります <small>*胃がん検診は、50歳以上が対象です</small>	胃がん 対象者 男女共通 2年に1回	前立腺がん 対象者 50~69歳のみ対象 男性のみ(2年に1回)	

*実施医療機関での料金について掲載しています。集団検診や北海道対がん協会札幌がん検診センターでの料金は札幌市ホームページからご確認ください。

詳しくは札幌市ホームページをご覧ください



札幌市 がん検診

がん検診の受診方法は **裏面をご覧ください**

札幌市がん検診 受診するには

札幌市ホームページに掲載されている「実施医療機関」あて直接連絡し申し込みます



札幌市 がん検診 医療機関 検索

「札幌市がん検診」詳しくはホームページから確認できます



「札幌市がん検診」ページ

お問い合わせ先（一般的なこと）

札幌市コールセンター（年中無休 8：00～21：00まで）

TEL: 011-222-4894 / FAX: 011-221-4894

札幌市がん検診 検索

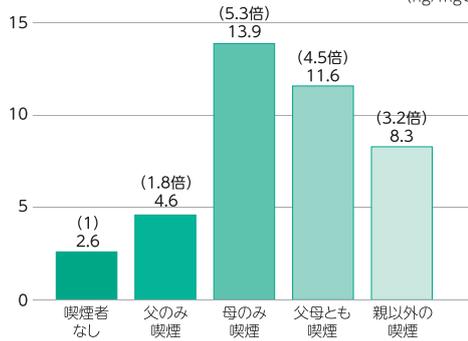
mail: info4894@city.sapporo.jp ※検診予約は直接医療機関等へご連絡ください。

お子さんをたばこの害から守りましょう

幼児の受動喫煙

同居家族の喫煙状況別

3～6歳児の尿中のニコチン代謝物測定結果 (ng/mgCre)



2008 札幌市衛生研究所調査

一緒に過ごす家族のからの受動喫煙によって、子どもの体からニコチン代謝物が検出されることがあります。

左のグラフは3～6歳児の尿中のニコチン代謝物の濃度を測定した結果です。大人がたばこを吸うと、一緒にいる時間が長い子どもが受動喫煙を受け、子どもの体からニコチン代謝物が検出されたことがわかります。



「電子たばこに替えれば、大丈夫」は間違いです!

一般に「電子たばこ」と呼ばれることが多い「加熱式たばこ」は、たばこ葉やその加工品を加熱することによってニコチンを発生させます。

さらに一部の加熱式たばこは、発生するニコチンの量が紙巻きたばこと同じくらい多いことがわかっています。

家族みんなで、自分やお子さんの健康のために、たばこは全てやめましょう。

チャレンジしませんか?

禁煙

たばこがやめられない最大の理由は「ニコチン依存」です。禁煙外来での治療は、健康保険が適用される場合があります。札幌市ホームページからも禁煙支援の制度について紹介しています。

専門家のサポートを受けて、禁煙を成功させましょう!



「禁煙支援・禁煙外来」ページ



知っていますか? 三次喫煙(サードハンド・スモーク)※

三次喫煙(サードハンド・スモーク)は、たばこの煙そのものから受ける受動喫煙とは異なり、主に屋内でたばこの火が消えた後も部屋に残る化学物質を吸い込むことをいいます。

たばこ由来の化学物質などは、喫煙者の髪の毛や衣服、部屋や自動車のソファやカーペット、カーテンなどの表面に付いて残ることが知られています。

それが再び部屋の中で舞うことで化学物質を吸い込み、三次喫煙が発生すると考えられています。

特に部屋で過ごす時間が長い乳幼児などでは三次喫煙による影響がより心配されます。

屋内の三次喫煙を防ぐ方法は、お部屋の中を完全禁煙にすることです。



※「e-ヘルスネット(厚生労働省)健康日本21アクション支援システム～健康づくりサポートネット～より

健康増進法・さっぽろ受動喫煙防止宣言など受動喫煙に関するお問い合わせ先

札幌市保健福祉局ウェルネス推進部 TEL: 011-211-3513



札幌市
たばこ対策推進
マスコットキャラクター
「スーナ」



さっぽろ市
02-F08-26-114
R8-2-91